

関内ホール (横浜市中区住吉町4-42-1)

- JR「関内駅」北口 徒歩6分
- 市営地下鉄「関内駅」9番出口 徒歩3分
- みなとみらい線「馬車道駅」5番出口 徒歩5分

主 催 横浜市社会福祉協議会
18区社会福祉協議会

共 催 横浜市健康福祉局
横浜市こども青少年局

寄付協力 株式会社メモワール 様
(順不同) 株式会社ひとはな 様

〈個人情報の取扱いについて〉
参加申込書に記載された個人情報は、本フォーラムに係る企画、主催者用
参加者名簿の作成・管理等、本フォーラム関連のみの目的で使用するとともに
本会「個人情報保護に関する方針」に基づき、適切に取り扱います。
(個人情報保護に関する方針→ <https://www.yokohamashakyo.jp/kojin-joho/>)

問合せ・申込み

横浜市社会福祉協議会 企画部企画課

横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター7階
TEL 045-201-2090 FAX 045-201-8385
E-mail chiikifukushi-f@yokohamashakyo.jp



「よこはま地域福祉
フォーラム」は、一部
共同募金の配分金で
実施しています。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

保険金額・年間保険料 (1名あたり)

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
死亡保険金			1,040万円	
後遺障害保険金			1,040万円(限度額)	
入院保険金日額			6,500円	
手術	入院中の手術		65,000円	
保険金	外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
地震・噴火・津波による死傷		×	○	
の 補 償 任 任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円	

ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆中途でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



第10回

よこはま地域福祉
フォーラム

2025.12.4 (木) 13:00
~16:00

※受付 12:30開始

関内ホール 大ホール

手話通訳あり

後日録画配信 (Youtube) あり

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会
18区社会福祉協議会



13:00～

Part1

第1部 基調講演

株式会社あおいけあ 代表取締役
かとう ただ すけ

加藤 忠相 氏

「ごちゃまぜ」からみえる未来

このまちで、ゆるやかに交わりともに暮らす



私たち一人ひとりが、このまちで、自分らしく生き生きと暮らしていく— そのためには、どのようなつながりが必要でしょうか。

介護事業所での実践を通して、さまざまな人が「ごちゃまぜ」に関わり合い、ともに暮らすことの大切さについてご講演いただきます。

講師プロフィール

25歳で起業し、地域を巻き込んだ独自のケア事業を開始する。その取組がNHK「プロフェッショナル～仕事の流儀～」ほか多数のメディアで紹介され、海外でも学会などで取り上げられて話題に。2019年には高齢者ケア分野で世界的な影響力のある人物として、「Ageing Asia Global Ageing Influencer」に選出された。

お申込み



令和7年12月4日(木)

締切：11月5日(水)



URL : <https://x.gd/1204chifuku>

または左記の二次元コードよりお申込みください。

天候・災害等でやむをえず中止をする場合、本会ホームページにて、12月4日（当日）午前10時までにお知らせいたします。

会場参加
01

令和8年2月2日(月)～3月26日(木)

URL : <https://x.gd/chifuku10rokuga>

または右記の二次元コードよりお申込みください。

後日メールにて受講および資料ダウンロードに必要なURL・パスワードをお送りいたします。



締切：3月25日(水)

※ 視聴に関わるインターネット通信費用は、視聴される方のご負担となります。（基調講演：1時間、実践報告：1時間30分程度）

14:30～

Part2

第2部 実践報告

旭区

障害がある人もない人も、誰もが地域の一員に



「障害について知ってほしいので講演会をしたい」という相談が、障害当事者の男性から区社協に入った。地域食堂や畠のボランティアなどの地域活動をきっかけに、地域の担い手としての居場所と役割を見つけていく。それぞれの思いを通して、誰もが地域の一員として活躍できる機会や居場所について考える。

白根みらい食堂
不動丸ファーム
白根地域ケアプラザ
旭区社会福祉協議会

神奈川区 安心して買い物できる！～移動支援の中でICTを活用した見守り～



バス路線が廃止され買い物に困っている高齢者のために、地域と福祉事業所が連携して移動支援を開始した。その取組中に起きた参加者の体調不良をきっかけに、地域・企業・NPOの連携によるICTを活用した見守りの検討が始まる。それぞれの強みを生かした福祉と他業種との協働の仕組みについて紐解く。



中丸買い物支援
(移動支援)
ネットワーク



コーディネーター：

同志社大学 社会学部社会福祉学科 教授 永田 祐 氏

※プログラム中の各表題、登壇者等は変更になる場合があります。ご了承ください。

第10回よこはま地域福祉フォーラムとは

私たちのまち横浜では、普段の暮らしの中で様々な見守り、支え合い活動が育まれてきました。こうした活動を広く共有することで取組の輪を広げ、困りごとを受け止め、支えあえる地域をめざしていこうという思いから始まった「よこはま地域福祉フォーラム」は、今年で10回目を迎えます。

少子高齢化や社会的孤立等の課題が複雑化する中、さまざまな背景をもつ人が「ごちゃまぜ」の環境の中で経験や喜びを分かち合い、ともに認めあう地域づくりがより一層求められています。

本フォーラムを通して、さまざまな人が「ともにある」ことで生まれる価値を共有し、みんなが関わり合う地域づくりに向けて何ができるのか、皆さんと一緒に考えていきます。